

2026年度JSSR-DB改修点

# 1. 術式小分類・病名/術式追加項目/脊髄誘発電位測定/アウトカムに「判定不能」の選択肢と定義を追加

術式追加項目\*

なし
  術中術後自己血回収術
  脊髄誘発電位測定
  画像等手術支援
  その他

脊髄誘発電位測定

経頭蓋刺激筋誘発電位 (Tc-MEP)
  体性感覚誘発電位 (SEP)
  それ以外の他モダリ

true positive
  true negative
  false positive
  false negative
  rescue
  判定不能

## 【アラームポイント定義】

経頭蓋刺激筋誘発電位 (Tc-MEP) は術中ベースライン波形の70%以上の振幅低下を認めた場合

体性感覚誘発電位 (SEP) は術中ベースライン波形の50%以上の振幅低下を認めた場合

それ以外の他モダリティーは術中ベースライン波形の50~100%の振幅低下を認めた場合

## 【アウトカム定義】

true positive	手術中にアラームありと判断され、手術終了時まで電位の回復はなく、術後新たな神経麻痺の出現を認めたもの
true negative	手術中にアラームがなく、術後新たな神経麻痺の出現がなかったもの
false positive	手術中にアラームありと判断され、手術終了時まで電位の回復はなかったが、術後新たな神経麻痺の出現がなかったもの
false negative	手術中にアラームがなかったが、術後新たな神経麻痺の出現を認めたもの
rescue	手術中にアラームを認め、適正なレスキュー操作を行い手術終了時点で最終波形の振幅がベースライン波形の30%以上に回復し、術後新たな神経麻痺の出現がなかったもの
判定不能	初めから最後まで波形が検出されなかった症例など、アウトカム判定不能のもの

## 【新たな神経麻痺定義】

術後新たな神経麻痺の出現は術前よりMMT1レベル以上の筋力低下を認めたもの

## 2. 前方手術（K142 1、K142 4、K142-21）の術式小分類項目名の変更

修正前

LIF・Anterior Column Realignment（XLIF・ACRの手技に準じるもの）



修正後

ACR（Anterior Column Realignment：XLIF・ACRの手技に準じるもの）